



古の学校」教えを体験

自学の精神 軍師や志士も集う

東武伊勢崎線足利市駅から 関東平野を流れる渡良瀬川を 渡り、石畳の街並みへ入ると 重厚な門が見えてきた。日本 最古の学校と言われる国史跡 足利学校だ。明治初期に学校

としての役割を終え、建物な ど一部を残すのみだったが、 1990年に江戸中期の姿に 復元された。入り口で渡され た「入学証」を手に「学校」 と書かれた1668年創建の

門をくぐる。さあ、入学だ。 門の先に、枝がひどく垂れ 下がった松があった。同校事 務所の大沢伸啓所長(58)に聞 くと、学生が読めない漢字や 意味のわからない言葉を紙に 書いて枝に結ぶと、翌日ふり がなや注釈が書かれていたと いう伝説が残るといふ。この 字降松は教育方針の自学自 習を象徴している。卒業も自 分が納得したときです」



上 鏡 下 相



④学校門は足利学校のシンボルだ
⑤学生が生活していた衆寮、学校の台所の庫裡、講義をした方丈(写真右から)などは1990年に復元。復元前は市立小学校があった



「字降松」の前には「かなふり松質問箱」が置かれている

今も自学自習の仕掛けが校 内にある。学生が講義を受け ていた施設「方丈」の入り口 には、ぶら下がった器に水を 入れる装置がある。入れすぎ るとひっくり返り、孔子の 「中庸」の教えを体験でき る。方丈内では「足利学校漢 字試験」に挑戦したが、数分 で鉛筆が止まった。スマホに 慣れ、漢字を忘れていたこと にはとっとした。縁側に座る と、そよ風や新緑の爽やかさ に心を洗われた。

学校の創設には諸説ある。 奈良時代に国ごとに設けられ

た学校だったという説、平安 時代の学者・小野篁が建てた 説や足利氏2代目で源頼朝の 義弟の足利義兼による説など である。最盛期の16世紀半 ば、宣教師のフランシスコ・ ザビエルが「日本国中最も大 にして最も有名な坂東の大 学」と紹介。「学徒3千」と 称された。 学問の中心は儒学。室町時 代には易学や兵法なども学ば れ、軍師育成に寄与した。徳 川家康のブレイクの僧侶・天 海も学び、幕末には吉田松陰 や高杉晋作も訪れた。貴重な 書物も大勢の人をひきつけた。漢籍4種77冊は国宝。平 成の元号は、その中の「尚書 (書経)」が出典で、大沢所 長は「新元号も学校所蔵の漢 籍から出典される可能性があ

史跡) 「方丈」は 90年に できる漢 素読体験 8日まで 気

仙や 用体験が 的)。休憩 もある

宝) 5月 足利 若泉祥子

線足利駅 40分で足 市の中 望める。

まれ